

未来への心をつなぐパートナー

みらい3

農をはぐくみ地域をつなぐ

5 2021
月号

VOL.63



50th
ANNIVERSARY

JAふくしま未来

JAグループ

耕そう、大地と地域のみらい。



サヤエンドウ

Snap peas



緑黄色野菜のサヤエンドウ。さやのまま食べるためカロテンを多く摂取できます。活性酸素を抑え動脈硬化や心筋梗塞などの生活習慣病から守ります。また、カロテンはビタミンAに変換されて作用することから、皮膚や粘膜の健康を維持する効果があります。さやが鮮やかな緑色で全体に張りツヤがあり、豆がでこぼこ張り出していないものが新鮮なサヤエンドウです。

収集し、吸収し、発信する農業



前向きに農業に取り組む進一さん

原木しいたけと様々な野菜の栽培に取り組む進一さん。十数年会社勤めをしてきて、3年前から家で取り組む農業に加わり、父と母と3人で農業を営んでいます。

進一さんの経営方針は年間を通して収入を得られるようにすること。冬場の間しいたけを栽培し、その後水稲の種まき、野菜の定植、田植え、野菜の収穫、稲刈りと順番に行い、しいたけ栽培に戻るという流れをとっています。気象などの外的要因に左右されないよう、その土地の気候や風土に合った農業を意識していて、1つの品目が不調でも農業経営を続けていけるよう工夫しています。

情報で溢れかえっている現代、いかに取捨選択し活用していくかが重要だと思います。畑で作物と向き合うことももちろん大切ですが、いろいろな情報を自分で積極的に収集して吸収していくことで、より良い農業につなげられると考えています。

最近始めたインスタでは、栽培風景や収穫したおいしいそうな作物の写真をアップしています。目指せフォロワー1万人！



フォローお願いします！

みらい3

Contents

- 02 若手生産者 表紙の人
- 04 特集
 - 令和3年度 入組式
 - GAPへの取り組み
- 08 J-FAP ふくしま魅力発見
- 10 みらい3トピックス
- 15 営農情報
- 20 農業女子
- 23 みらい3作品展
- 24 元気にすくすく「みらいっ子」

- 25 創造的自己改革
 - 福島大学 学生日記
- 26 みらい3ポイントカード協力店
- 27 JAふくしま未来サービス
 - 未来を拓く協同組合
- 28 ドローンで見るふくしま未来
 - お知らせ
- 30 クロスワードパズル
- 31 家庭菜園のスヌメ
- 32 今月の直売所出荷者さん
 - イベント情報



若手生産者
表紙の人

安達地区/本宮市白岩

國分 進一さん (45歳)
就農3年目
栽培品目・面積
原木しいたけ 15間ハウス6棟、
水稲 120a、ミニトマト 3a、
ネギ 10a、キュウリ (露地) 5a

GAPへの取り組み

7月に開催が予定されている東京2020オリンピック。3月には福島県をスタート地点とし聖火リレーが行われました。このオリンピックの食材調達基準として、現在注目されているGAP。JAふくしま未来でも東京2020オリンピック・パラリンピックへの食材提供で世界へ安全・安心をアピールするため、GAP取得に力を入れて取り組んでいます。今回の特集では、JAのこれまでのGAPの取り組みについて紹介します。

GAPとは

GAPは「Good(グッド) Agricultural(アグリカルチャル) Practices(プラクティス)」の略で、良い農業の取り組みということ。農業生産工程管理とも言い、食品安全や環境保全、労働安全などへ配慮した農業経営を行っている生産者を認証する制度です。

農産物の安全・安心を第三者の目で確認してもらうことで、消費者やバイヤーの信頼を得ようとする取り組みで、東京2020オリンピック・パラリンピックで使用する食材の基準ともされています。また、オリンピックに限らず、GAP認証が流通の主流となることが考えられており、JAではこの取り組みに力を入れています。

GAPの種類

- JGAP**..... ●一般財団法人日本GAP協会が運営
●農業者、JA、大手小売業などが参加
●指導員育成の仕組みを持つ
●第三者による認証を行っている

JAふくしま未来ではJGAP取得に取り組んでいます

- 各都道府県のGAP**..... ●各都道府県が独自に定めたGAP
●農林水産省のガイドラインに準拠したもので一部の都道府県では第三者認証も行っている

- グローバルGAP**..... ●非営利組織Food PLUS社が運営
●欧州を中心に世界120ヶ国以上で実施

- アジアGAP**..... ●一般社団法人日本GAP協会が運営
●アジア共通の基盤とすることを目指す

GAPへの取り組みは、
SDGs に貢献しています。



新たに 24 人の新入職員が仲間入りしました



4月1日、JA本店で令和3年度の入組式を行い、24人のフレッシュな仲間を迎えました。式には、新入職員やJA役職員38人が出席。数又清市組合長は「JAは『生命産業』。人々が生活する上で欠かせない物を生産している。JAの職員として、常に組合員や利用者のためにどう気持ちを忘れないでほしい」と激励。

新入職員を代表して霊山掛田総合支店の狗飼結衣職員が辞令を受け取り、原町西支店の宮佑介職員が「何事にも向上心をもって取り組み、組合員や地域に愛され、頼り甲斐のある職員になれるよう励む」と強く決意を述べました。



皆様どうぞよろしくお願い致します！

JA 福島未来の GAP 取得への取り組み

2018年10月 さらに3団体が認証取得

JAの3GAP部会が新たに認証取得に至りました。「きゅうりGAP部会」21人、「野菜GAP部会」14人、「水稲GAP部会」24人が取得。管内でのJGAP認証は6団体104農場となり、県内トップを誇りました。さらに、福島県のGAP認証取得件数は、北海道に次いで全国2位となりました。



2018年10月 新規取組者説明会開催

さらなるGAP取得者の増加を目指し、新規取組者説明会を管内3会場で開催しました。GAP認証が流通の主流となることを見据え、GAP取得を働きかけました。

2019年5月 きゅうりJGAP品出荷出発式

JAきゅうり生産部会連絡協議会が、きゅうりのJGAP団体認証取得後初となる出荷を記念し、きゅうりJGAP品出荷出発式を開きました。伊達地区東部広域共選場で開催し、行政や市場関係、JA役員など約70人が出席。橘一郎同協議会会長は「JGAP認証取得きゅうりの、日本一の産地を目指して一丸となって取り組もう」と呼び掛けました。



2019年 GAP 部会編成

ももGAP部会、なしGAP部会、きゅうりGAP部会などから、果樹GAP部会、野菜GAP部会、水稲GAP部会の3部会に編成。現在では果樹62人、野菜69人、水稲26人、計157人が認証を受け県内トップの認証数となっています。

2020年 GAP 新規取組者説明会

2021年1月 認証継続に向けて内部監査

JGAP認証継続に向けて、内部監査目合わせ会を実施。監査員を務める営農指導係らが集まり、監査内容や判断の基準などの監査基準の統一を図り、1月から2月にかけて内部監査を実施しました。

2021年3月 県内初の家畜・畜産物JGAP取得

安達地区管内の野内和幸さんが、県内で初めてとなる「家畜・畜産物JGAP認証」を取得しました。野内さんは「福島県のGAP取得農畜産物に、福島牛が並べられるようになったことが嬉しい。原発事故による風評被害が残る中、県産品の安全・安心を広めていきたい」と話しました。



2017年5月 「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」

福島県とJA福島中央会が、東京オリンピックでの食材提供により、県農畜産物の安全性を広めようと、GAP認証日本一を目指す「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を行いました。

2017年7月 JGAP営農指導員全体研修会

団体認証取得のため、営農指導係を対象とした研修会を開催。営農指導係のJGAP指導員の資格取得を目指すとともに、生産者への指導もスタートさせました。



2017年7月 生産者説明会

JGAP取得を目指す生産者に向けて、管内4地区で生産者説明会を開催。約350人の生産者が参加し、ビデオや担当者からの説明を通しGAPへの理解を深めました。



2018年5月 3団体がJGAP取得

JAの生産者で組織する3つのGAP部会がJGAPの団体認証を取得。JAでは初めての団体認証取得となりました。認証を受けたのは、「ももGAP部会」25人、「なしGAP部会」6人、「果樹GAP部会」14人で、ももGAP部会においては団体認証を受けた組織として県内最大となりました。



2018年6月 農産物直売所で販売開始

JAの農産物直売所で、GAP認証を取得した農産物の販売を開始。初めは、果樹GAP部会の生産者が生産したサクランボ「佐藤錦」。その後、プラムや桃の販売を行いました。



Q ダリア生産に対する想いを教えてください。

A 20年前、何か特色あるお花を作りたいという思いを探り回った結果辿り着いたのがダリアでした。当時ダリアはダリア園でしか栽培しておらず、花屋さんで扱ってもらい、多くの皆様の手元に届いてほしいという思いで栽培してきました。



奥山さん、いつもキレイなダリアを生産していただきありがとうございます。これからもよろしくお願いします！

YouTube「みらいろチャンネル」

★農家におじゃまします！

★J-FAPチャレンジ
動画公開中！ご覧ください。



J-FAP
ふくしま魅力発見

おもしろい
楽しい
届けます

vol. 03

J-FAP
チャレンジ

パッと華やかダリアの フラワーアレンジメント

■作り方

- ①水をはったバケツにオアシスを浮かべ、吸水させておきます。
- ②さしやすくするために面取りをして、オアシスを器にセットします。
- ③主役にするダリアから生けていきます。長さを決めてななめに切り、三角形になるようにさし込みます。何度もさしたり、ぬいたりしないようにさす前に場所を考えながらさしましょう。
- ④キイチゴを生けます。吸水スポンジに入る茎の葉っぱを取り除きます。
- ⑤オアシスを隠すように、隙間にカスミソウやキンパコデマリを中心に向かって差し込みます。

■材料

- カッターナイフ (吸水スポンジ面取り)
- 花ばさみ
- 器
- オアシス (吸水スポンジ)
- お花

【今回のお花】ダリア、キイチゴ、カスミソウ、キンパコデマリ

J-FAPポイント★

茎を斜めに切ることで、さしやすくなりますし、吸水もよくなります。



奥山さんは、12棟のハウスで、ダリアを栽培。ピーチインシーズンやピーチロゼ、ピーチウェディングなどのJAふくしま未来オリジナル品種のピーチシリーズを15種類ほど育てています。

ハウスをのぞくと、色とりどりのダリアが咲き揃っていました。

お花を見ると穏やかな気持ちになりますね。



J-FAP (ジェイファップ) は、JAふくしま未来の職員で構成されたPRチーム。「JAふくしま未来農産物PR」という意味の英語「JA FukushimaMirai AgriculturalProducts PublicRelations」が由来です。管内の農産物の魅力をお届けする中で、生産者や消費者と良好な関係づくりを目指していきます！

J-FAP
かづき
香月

Q 今年の生育状況はどうですか？

A 昨年、冬場の寒さが早く遅れ気味でしたが、2月くらいから暖かくなってきて、生育が進みました。

Q 収穫時期はいつ頃ですか？

A ダリアは基本的に1年中作れるお花ですが、夏場の暑い時期を避けて、9月～翌年6月まで栽培しています。その間3回ほど収穫します。

福島市上野寺でダリアを生産している奥山昭治さんのハウスで旬のダリアの魅力を発見してきました。



TOP NEWS
3月24日

**JA管内5年連続受賞の快挙
肉用牛枝肉共励会農林水産大臣賞受賞**



▲受賞を報告する上野さん(右から3人目)



TOP NEWS
3月24日

**販売金額前年対比110%の2億6千万円達成
あんぼ工房みらい出荷反省会**



▲あんぼ柿の出荷について協議する数又組合長



JA管内の上野広行さんが、全国肉用牛振興基金協会主催の第56回肉用牛枝肉共励会で最優秀賞の農林水産大臣賞を受賞。本店を訪れ濱田賢次専務に受賞を報告しました。



▲菅野会長と上野さん

上野さんが出品した枝肉重量は590kg、等級格付けA5、脂肪交雑の度合いを示すBMSは12を記録。ロース芯面積は101cm²でした。

上野さんは「生産者として受賞を嬉しく思う。連続受賞を絶やさぬようこれからも頑張っていきたい」と受賞を喜びました。

濱田専務は「5年連続は大変名誉なこと、皆さんの努力のたまもの。今後も他の生産者の励みになるよう頑張っていきたい」と話しました。

伊達地区本部で、あんぼ柿加工選別包装施設「あんぼ工房みらい」の2020年度出荷反省検討会を開きました。JA全農福島やJA役員らが出席し、20年度の取組経過や出荷実績、検討課題について協議しました。

あんぼ工房みらいは、原発事故で減退した栽培意欲や生産者の減少を回復させようと建設し5年目となり、20年度あんぼ柿の販売金額前年対比110%の約2億6千万円を達成。数量は前年対比113%の約157トとなりました。

20年度の販売は、平核無の原料柿が凍霜害を回避したことで4年ぶりに豊作。JAで継続してきた適期収穫指導徹底により、品質の良い原料柿の確保に至ったと報告しました。また、原料の状態により保管場所を3か所に分けることで、品質保持と加工時の適熟状態を維持。その他、選別包装の利用者についても73人となり、前年比12人の増加、利用促進を図りました。

数又清市組合長は「今後もあんぼ工房みらいが地域の牽引となり、よりよいあんぼ柿の品質を確保し、産地再生確立に邁進していきたい」と意気込みを話しました。

4月12日
**福島地区
農業安全祈願祭**



福島地区は令和3年度農業安全祈願祭を、直売所こころ矢野日店のイベント広場で執り行いました。

永澤信弘福島地区役員代表は「温暖な気候により年々農作業は早まり、高齢化により農作業事故も増えている。豊作や作業の安全を祈願し、今年も1年取り組んでいこう」とあいさつ。

神事では、福島市飯坂町西根神社の斎藤宮司のもと、菅野孝志会長理事をはじめとし、5人が代表



▲玉串奉奠を行う永澤役員代表

して玉串奉奠を行いました。

4月5日
**硬化育苗成ハウス10棟新設
育苗センター稼働開始
10万7000枚計画**



▲播種作業する作業員ら

JA福島地区の吾妻育苗センターと飯野育苗センターが稼働し

ました。今年は苗10万7000枚を生産者に供給する計画で播種作業を行いました。

吾妻育苗センターでは今年度、硬化育苗成用ハウス10棟とハウス灌水施設を新設。農業者の高齢化が加速している中、水稲作付の需要は底固く、育苗センターへの硬化育苗受注比率は高くなること予想されることから建設を履行。

開所式には、JA役員や作業員など約30人が参加。宝槻直志専務は「JAの苗はさすがと誉れもらえよう、心を込め連携していい苗作りを行っていきましょう」と呼び掛けました。

3月18日
**春の農作業を応援
資材フェア開催**



▲資材を買い求める来場者

4月9日
**年金友の会に記念品贈呈
500億円突破**



年金振込金額500億円達成を記念し、記念品贈呈式を本店で開催しました。

三津間一八専務が「厳しい情勢の中、達成できたのは皆様のおかげ。今後も友の会の発展に取り組みで行く」とあいさつ。

福島地区年金友の会の平田無着会長、菅野利雄副会長、阿部輝夫副会長ら3人が各地区を代表して記念品を受け取りました。平田会長は「コロナの影響で年金友の会

伊達地区本部は、春の農作業を応援するため伊達市、桑折町、国見町のJA資材店舗など管内8ヶ所で資材フェアを開催。JAオリジナル肥料「みらい物語シリーズ」や発酵鶏糞、サントーマスなどを販売しました。

毎年参加する農家の鈴木良春さんは「今年も良い物を作れるよう頑張りたい」と話しました。

来場者全員にJA6次化商品「伊達の蜜桃」ジュースとエコバッグをプレゼントする他、抽選会も行いました。



▲代表受領した平田会長(前列中央)ら

4月8日

「絆を感じた1年」
女性部本部第6回通常総代会開催

JA女性部本部は第6回通常総代会を開催。コロナ禍で活動の自粛や中止を余儀なくされた中でも組織力、団結力を強め、改めて「絆を感じた1年」と2020年度を振り返り、さらに21年度の活動に向け協議をしました。感染症予防対策のため書面議決による縮小開催となりました。

富田キヨ同部長は「コロナ禍の大変な中、マスク製作、タオル寄贈、リモート配信による研修会など、アイデアを出し合い様々なことにチャレンジした年であった。これらの経験を活かし、これからも女性部活動を「楽しい活動」にし、皆さんに刺激を与える女性部になろう」とあいさつ。



▲あいさつする富田部長

5 ジェンダー平等を実現しよう
17 パートナリシップで目標を達成しよう



▲女性部役員の皆さん

議事では、斎藤智美さん（伊達地区）議長のもと5つの議案について協議。議決書により全て可決承認となりました。役員改選では、新役員9人を含む12人を選任。新女性部長には、千枝浩美さん（そうま地区）、副部長には、安倍真知子さん（福島地区）、蓬田由美子さん（伊達地区）、菅野まゆみさん（安達地区）が選任されました。

3月25日

新会長に武田氏
青年部・農業後継者
連絡協議会総会

JA青年部・農業後継者連絡協議会は、2020年度総会を福島市の北信支店で開き、関係者など22人が出席しました。舟山昌利同協議会会長は「1人1人が自覚と責任を持ち、仲間づくり運動の展開で部員同士結束力を高めよう」とあいさつ。

20年度の活動報告、21年度の活動計画など全4議案が可決となり、全2項が報告されました。本総会では役員改選も行い、そうま地区青年連盟鹿島支部の武田幸彦さんが新会長に就任しました。

武田新会長は「ポリシブックを活用した活動の実施で皆さんの協力のもと頑張っていきたい」と抱負を語りました。



▲あいさつする舟山会長

3月23日

枝の広がりや発色が高評価
丹野さん東北農政局長
賞受賞



▲受賞を喜ぶ丹野さん（中央）

第47回福島県花き品評会で東北農政局長賞を受賞した丹野香織さんの表彰授与式をJA本店で行いました。

同品評会には県内から185点が出品。丹野さんが出品した小菊「夢子」は枝の広がりや花のポリウム、発色の良さが評価され見事受賞となりました。

授与式では福島県花き振興協議会の橋本栄市長が、代理出席した香織さんの父芳光さんに表彰状を伝達しました。

芳光さんは「受賞は今後の励みになる。更にはいい花を作れるよう、より一層頑張っていきたい」と受賞を喜びました。

4月9日

友好協力協定
コープおおいた
青木理事長来組

JAと友好協力協定を結ぶ大分県の生活協同組合コープおおいたが、JA本店を訪れ数又清市組合長らと対談しました。

同生協とは、東日本大震災等からの復興に向けた寄り添い活動に関する友好協力協定を締結。協定をきっかけに、これまで、農産物の安全・安心確保のための情報の共有や農産物の流通、大規模災害発生時の相互協力など、物的・人的交流を行ってきました。



▲青木理事長からお見舞いを受け取る数又組合長様

今回来組したのは、青木博範理事長と後藤秀樹組織支援本部長。2月13日に福島県沖を震源として発生した地震へのお見舞いをいただきました。

3月26～4月5日

農の達人が栽培を伝授
やさしい作り教室開催



▲播種の方法を説明する八巻さん

女性部梁川総合支部は3月26日から4月5日まで、やさしい作り教室を伊達市内7ヶ所で開きました。

同教室は自給菜園運動の一環で開き、計146人が参加しました。「農の達人」の八巻正好さんが講師を務め、肥料の働きと農薬の希釈や取り扱い方法について説明。そうま地区特産のカボチャ「黄色いハート」の種も配布され、栽培方法が説明されました。

参加者は「昨年は中止で残念だったが、今年は参加できてよかった」と開催を喜びました。

4月6日

インパクト大！等身大写真使用
J・FAP PR用のぼり旗作成



▲のぼり旗を掲げるJ・FAPメンバー

JAの農畜産物PRチーム「J・FAP（ジェイファップ）」がPR用のぼり旗を作成しました。メンバーが参加する販売促進活動やイベントなどで活用し、活動を広く浸透させます。

作成したのぼり旗にはメンバーの等身大写真と名前、J・FAPのロゴマークと「ふくしまのおいしい楽しい届けます」のキャッチフレーズをプリント。一目で活動がわかる仕上がりにし、メンバーの写真を大きく写し出すことでインパクトを与え、人柄もわかるように工夫しました。

同チームは、JA管内の農畜産物を広くPRするため、2020年12月に若手の男女職員12人で結成。JAが運営する動画投稿サイト「ユーチューブ」の「みらいのチャンネル」や広報誌で季節ごとに旬の農畜産物や生産者の魅力を発信し好評を得ています。



4月2～4日 「庭坂植木市」最後の開催

47年間の歴史に幕を閉じる J A福島地区植木部会は春の植木市を庭坂共選場で開催。サクラやツバキ、ツツジの仲間、その他部会員らが栽培した植木や山野草、苗木など約3000点を取り揃えました。 植木市は昭和49年から始まり、47年間通算140回開催してきた歴史ある催し。5月28日(金)～30日(日)に開催の初夏の庭坂植木市をもって最後の開催となり、長い歴史に幕を閉じるようになりました。

同部会の梅津朝雄部会長は「最終市となってしまったことは寂しいが、部会員らが一生懸命やってきたおかげでここまで続けてこられた。会場に来ていただき、部会員が丹精込めて作った季節の花と緑を楽しんでほしい」と呼び掛けます。



▲植木市への来場を呼び掛ける梅津部会長

3月26日 地域に「ありがとう」 大和田支店長が 聖火ランナーを務める



▲笑顔を見せる大和田支店長

中村みなみ支店の大和田芳光支店長が、3月25日に福島県をスタートした東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火ランナーを務めました。 大和田支店長は業務の傍ら、約30年にわたり消防団活動に尽力している他、少年補導員として学校を訪問し、防犯教室をおこなうなど地域に根差した活動が評価され聖火ランナーに選ばれました。 大和田支店長は「組合員や地域の皆さんにこれまでの感謝を伝える事ができて嬉しく思う」と話しました。

3月28日 鳥とも子さん最優秀賞 家の光記事活用 発表大会

女性部そうま地区は、家の光記事活用発表会をそうま地区本部で開きました。 発表会は各支部の代表者6人がそれぞれの題目で発表。J A福島中央会の渡辺毅組織広報部長が審査委員長を務め、J Aの濱田賢次専務らが審査員を務めました。 最優秀賞に「ぬいっこクラブで仲間づくりと手作りを楽しむ」と題して発表した相馬支部の鳥とも子さんが輝き、濱田専務から表彰状を受け取りました。 鳥さんは「受賞できて嬉しく思う。今後も活動を頑張っていきたい」と喜びました。



▲受賞を喜ぶ鳥さん(中央)

3月29日 地域貢献活動医療従事者への資金へ ガールスカウトへ 古切手寄贈



▲ガールスカウトへ古切手を手渡す五十嵐本部長(左から2番目)

J A女性部福島地区と同地区さわやか部会は地域貢献活動に取り組みんでいます。部員らが集めた古切手をガールスカウトへ寄贈し、医療従事者の資金として活用してもらいます。 本店で贈呈式を行い、ガールスカウト福島第5団へ古切手約1キロを贈呈しました。 五十嵐賢吉同地区本部長は「地域貢献として何かできることをといることで、古切手の回収に役立っていたありがたい」と話しました。

営農集団 紹介

株式会社

飯崎生産組合

南相馬市小高区飯崎地区は南相馬市の南部に位置しています。今回は、東日本大震災の原子力発電所事故から営農の復活を図る株式会社飯崎生産組合を紹介いたします。

耕作放棄地を減らし 地域の農地や環境を守る



株式会社 飯崎生産組合のみなさん

設立経過

2010年11月、地区のほ場整備に伴い生産規模が大きくなった事がきっかけで、隣組など8軒が集まり設立。東日本大震災や原子力発電所事故でほ場の整備や営農活動の休止が余儀なくされましたが、12年10月からほ場の草刈りなど保全管理活動を開始しました。 15年度に一部のほ場で大豆の試験栽培を開始。放射性物質の検出結果が低いことから16年度に水稲の試験栽培も並行して開始し、19年2月に法人化しました。

運営状況

主なメンバーは代表取締役の水谷隆さんと常時雇用者を含め5人。農作業の最盛期には地域の方など約50人を臨時で雇用します。「作業の平準化を図り、みんなで協力すること」をモットーに作業にあたります。約1,100㎡の育苗ハウスや数多くの農機具を管理しています。 20年度の栽培規模は令和元年東日本台風の影響で約10haが作付不能となり、水稲と大豆、タマネギ約40haとなりましたが、21年度は水稲30ha、大豆29ha、タマネギ1.9haで計61haの栽培を計画しています。

将来展望

水谷さんは「震災後、地域の農地や環境を守るために頑張ってきた」と話します。現在、南相馬市小高区には農業法人や企業などが参入し、耕作放棄地も徐々に減ってきました。以前の風景が戻りつつあることが何よりも嬉しいと笑顔を見せます。 今後は後世にどう農業を伝えて、この土地をどう守っていくか、また担い手不足が最大の課題となります。行政がおこなっているインターンシップ制度などを活用し、学生や農業を志す人達を積極的に受け入れ、農業の素晴らしさを伝えることで地域の農業振興に努めていきます。



防除用ラジコンヘリに農薬をセットする水谷さん

小菊・スプレー菊 栽培講座

梅雨時期になり、湿害による生育不良や病害虫の発生が多くなってくるので、排水管理と適期防除を徹底しましょう。

(小 菊)

【病害虫対策】

- ・草丈50cm程度になったら下葉15cm程度を葉かきして、風通しを良くします。
 - ・低温、降雨、曇天が続く場合には通常より1～2回多く防除を実施します。但し、同系統薬剤の使用、汚れ等には注意しましょう。
- 当面、特に白サビ病とハモグリバエ、アザミウマに気を付けましょう。

①白サビ病

病状：葉に白色(クリーム色)または、褐色の直径1～3mmの斑点が発生。わずかな風や灌水の飛沫で伝染します。

未発生圃場：白サビ病予防剤+殺虫剤

定期的な予防散布は欠かせず行いましょう。発病(ボツボツ)が見られなくても、感染が疑われる場合(降雨後等)



は治療剤を使用します。散布は散布ムラのない様、まんべんに行います。

発生圃場：白サビ病治療剤+殺虫剤

発病が見られる場合は、早急に浸透性を有する治療剤を使用します。同じ系統の薬剤は連用しない。完全にサビが止まったと判断される場合は通常の予防ローテーションに戻します。

②ハモグリバエ類

症状：幼虫は主に下葉を食害し、成虫は葉を吸汁し、葉に長い蛇行線状の食害痕が残ります。

防除は粒剤の使用および浸透移行性の高い剤で防除すると効果が高くなります。ただし、葉の中にいるさなぎには薬剤の効果は低いです。食害を受けた葉は取り除きほ場の外へ処分します。

③アザミウマ類

症状：新芽、葉、花に寄生し食害します。新芽、葉へ被害は葉の萎縮や表面が光って見えるシルバリングと呼ばれる症状が現れ、被害が進むと芯止まりを起こします。花弁の食害ではカスリ状に退色します。被害により商品価値が著しく低下します。

防除は農薬散布とあわせて、ほ場周囲の雑草管理をしっかりを行い、害虫の発生源をつくらないように気をつけましょう。

©営農部園芸課河野学が監修しました。

(スプレー菊)

【病害虫対策】

○病害

サビ病対策として、通風をよくするために草丈が50～60cmになったころ地際部より1/3程度の下葉をかき取ります。処理した葉は廃棄します。ほ場中に残していると病気や害虫の温床になるので注意しましょう。スプレーマムは施設栽培なので室内の湿度を低く保つため換気を十分行いましょう。

○害虫

アザミウマ類、ハダニ類の害虫に注意が必要。

アザミウマ類は花蕾に潜り込み花染みの原因になります。花蕾に潜り込むと防除が困難となるため、発蕾～幕切期までの防除期に防除を徹底します。

生育温度は20℃～30℃で生育期間は30℃に気温が高くなるにつれて早く成長します。

温度(℃)	卵～成虫の生育期間
15℃	34日
20℃	19日
25℃	12日
30℃	9日

【防除の考え方】

①多発する前に防除します

②周辺の除草・残花は早めに処理します

③多発した場合は3～5日感覚で連続で防除します

(ただし、同一系統の薬剤連用には注意すること。)

ハダニ類は乾燥条件で発生しやすくなります。

ハダニ類も同様に多発すると防除が困難なので葉の被害(カスリ症状)を見逃さずに防除を実施します。

©安達地区本部営農経済課羽田英史が監修しました。

令和3年度 JAふくしま未来

農作業事故ゼロ運動!!

当JA管内では毎年農作業事故が発生しています。昨年は管内で16件の労災事故の報告があり、農作業事故防止の対策強化が必要となっています。一人ひとりが安全を心掛けみんなで農作業事故ゼロに向けて取り組みましょう!

令和3年4月1日から10月31日まで

重点期間

- 春の農作業事故防止強化月間 4月～5月
- 熱中症防止強化月間 6月～8月
- 秋の農作業事故防止強化月間 9月～10月



呼びかけ重点事項

- ①大丈夫と思ってもムリせず、休憩しながら余裕のある作業を心がけましょう。
- ②農業機械の点検整備・清掃の際は、簡単な作業であってもエンジンを停止し、十分な安全を確保して作業しましょう。
- ③ほ場の出入りや段差に十分注意して、転落・転倒による事故を防ぎましょう。
- ④機械作業は焦らず、急がず、慎重に正しい機械操作を行いましょう。
- ⑤作業環境を改善し、危険箇所をなくそう。
- ⑥高所作業をする時は脚立の事故に注意しましょう。
- ⑦こまめな水分補給で熱中症予防をしましょう。
- ⑧高齢者の方は、自らの心身機能の状況を十分に意識して農作業に取り組みましょう。

令和2年度ふくしま未来農業協同組合労働保険事務組合 労災申請案件

脚立からの転落・落下による事故に注意しましょう!

事故内容:脚立から足を滑らせて転倒、バランスを崩し転落など。

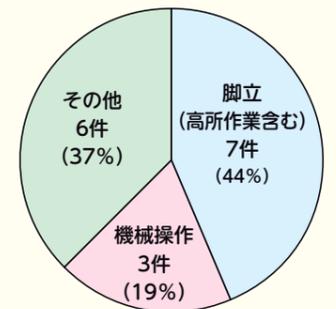
対策:作業前に周りに危険箇所がないことを確認しましょう。

脚立はこまめに動かし適切な立ち位置にセットしましょう。身体のバランスをしっかり保持するよう、昇降時は特に気を付けましょう。

機械の不具合点検時の電源OFFを徹底しましょう!

事故内容:電源を落とさず、機械を触りケガをするケースが多くなっています。

対策:機械の点検・整備を行う際は「このくらい大丈夫」と思わず、必ず機械の電源を落として作業をしましょう。



本店・地区本部・営農センター・畜産センター
全34カ所へ垂れ幕を設置しました

※ JA 共済連支援事業活用

注意 農薬を使用する組合員の皆さんへ

飛散防止対策・周辺環境への配慮をお願い致します

住宅地等の周辺で農薬を使用する時は

住宅地等に近接する公園等の植物、街路樹等また近隣に他の作物がある場合については、定期散布を止め、剪定や捕殺等なるべく農薬を使用しないようにしましょう。

農薬を散布する場合は、**周囲の住民に対し事前に農薬使用の目的、実施日時、使用農薬の種類などを十分周知**しましょう。また、作業時などには立て看板を設置するなど、散布区域に関係者以外が立ち入らないよう配慮が必要です。



農薬ドリフトの防止対策

- 1 風向と風速**
風が強いときや日中の散布を避け、風の弱い早朝や夕方に行いましょう。
- 2 散布方向や散布位置**
園地の端部では、園地の外側から散布しましょう。特に、農薬が飛散しやすいスピードスプレーヤでは園の周辺部を手散布に切り替えましょう。
- 3 散布ノズルと散布圧力**
散布圧力を上げすぎないようにしましょう（粒径が細くなるため）。
- 4 適正な散布量**
散布量が多くなるほど飛散しやすくなるので、適正な散布量で散布しましょう。
- 5 風量の調節**
スピードスプレーヤでは過大な風量とならないように散布しましょう。
- 6 近接作物生産者との連携・調整**
近接作物の収穫時期を考慮した散布計画、散布時期など近隣作物の生産者と十分に連絡をとりましょう。

○ **作業の時間帯に注意し、騒音によりトラブルにならないよう周辺住民と連絡をとりましょう。**

○ **農薬のラベルをよく確認してから使いましょう！**

農薬を使用する際は、ラベルや袋に表示されている使用基準や使用上の注意事項を必ず確認してから使いましょう。

ラベル等に表示されている『適用作物』『使用量・希釈倍数』『使用時期』『有効成分ごとの総使用回数』は必ず守り、使用状況は必ず記録しましょう。

JAの
農業振興支援事業を活用

JAでは、2億円の予算を確保し、農業振興支援に取り組んでいます。事業を活用し農業所得が上がった事例を紹介します。

農業所得
アップ↑
優良事例

優良事例

福島地区 小菊生産者
栽培品目・面積 小菊 65a



取り組み前年対比(%) 販売数量:109%(箱) 販売金額:123%

項目	内容
活用した支援事業	花卉生産拡大支援事業 電照設備導入
事業活用前の課題	出荷したい時期に咲く品種がなく、労力分散に悩んでいた。
取り組んだ方策	電照設備導入事業を活用し、開花調整を行った。 電照設備一式688,951円のところJA助成により388,951円で導入。
令和元年実績 販売数量・販売金額(取組み前)	販売数量 265,830本 2,298箱 販売額 11,730,000円 本単価 @44円
令和2年実績 販売数量・販売金額(取組み後)	販売数量 267,680本 2,512箱 販売額 14,470,000円 本単価 @54円
取り組み後の成果	電照により開花時期を延長させることで、労力の分散が図れた。更に、病害虫に強い優良な品種を利用したことにより、上位等級出荷率が向上し、反収も上げることができた。
農家コメント	支援事業があったから、設備導入に踏み切れた。
担当営農指導員コメント	品種構成による労力分散には限界がある。今回の優良技術を多くの栽培者に広めていきたい。

畜産部会連絡協議会総会開催



JA畜産部会は4月14日、二本松市のラポートあだちで、和牛繁殖部会、酪農部会、肉牛部会の全畜種合同の連絡協議会総会を開きました。部会役員やJA役職員ら35人が出席し、3つの事項について協議しました。

営農経済担当の佐藤博元常務は「管内では、肉用牛共励会で5年連続の農林水産大臣賞受賞や県内初の畜産GAP取得など明るい話題が出ている。時勢や天災もあるが情報収集しながら対策にあたっていこう」とあいさつしました。

総会の中では研修会を開き、社会保険労務士の島貫千佳氏が労災保険の内容について説明。近頃、農業者の高齢化や農業の機械化が進んだことで、農作業事故の重症化や発生率が増加の傾向にあり、

JAでも農業者へ労災保険加入を進めています。その他、役員改選があり、和牛繁殖部会で斎藤正剛さん(安達地区)、酪農部会で瀧澤昇司さん(そうま地区)、肉牛部会で狗飼功さん(伊達地区)が新役員に選任となりました。



研修会を受ける部会員ら

せり情報につきましては開催が月末のため、印刷の都合上5月号に掲載できませんでした。お詫び申し上げます。市場価格につきましては、畜産担当者にお尋ねください。



▲露地で栽培されるブロッコリー (20年11月頃)

幼い頃から田植え時期などの農繁期には、祖父母や両親の手伝いをしていたので農業は馴染み深いものでしたが就職した時は、まさか自分の職業が農業になるとは思いませんでした。

就農して6年目、まだまだ勉強の毎日ですが、農業はシーズンごとに頑張った成果が目に見えるから、自然とモチベーションアップに繋がります。その反面、一生懸命頑張っても台風など天候次第で思い通りにいかない時もあります。「うまくいかななくてもやるしかない！」をモットーに地道な作業を根気よく続けています。農業は根気があればできると考えています。

地道に根気強く

色んな角度で作業を見つめ直し、アイデアを出しながら農作業の省力化に取り組んだり、安全安心で高品質な農産物栽培のために、有機資材を使った「いい土作り」を意識していきたいと思えます。今後、私のように農業を志す人が増えるよう、農業のやりがいや素晴らしさを広く伝えながら、いずれは目標としている両親を追い越せるように頑張っていきたいと思えます。

今後の目標



▲1800本のトマト苗



▲生育中のグリーンレタス(20年11月頃)



▲カボチャの生育状況を確認



▲農機具のメンテナンスも自分でおこなう



▲こだわった土で栽培される水菜



農業で活躍する女性を紹介

農業女子
のうぎょうじょし

vol. 03

地道で堅実な農作業

うまくいかななくても「やるしかない」

▲定植間近のトマトの苗を見つめる華代子さん



南相馬市原町区で農業を営む星華代子です。大学卒業後5年間、福島市内で事務の仕事をしていましたが2016年に還暦を迎えた父に、「農業やってみないか」と誘われたことをきっかけに就農しました。現在は祖父母と両親、弟と6人家族で天のつぶを中心とした水稲25ha、トマトなどハウス野菜30a、ブロッコリーなどの露地野菜を70a栽培していて、JAや地元の市場に出荷しています。

両親を目標に農業女子の道へ

プロフィール



南相馬市原町区
ほし かよこ
星 華代子さん(32才)

みらいろ 作品展

(順不同)



桑折 ツネ子さん(南相馬市原町区)



但野 ヨオ子さん(南相馬市鹿島区)



渡辺 ミチ子さん(二本松市)



八巻 匡さん(国見町)



野田 好子さん(伊達市保原町)



鈴木 栄子さん(伊達市保原町)



橋 美知子さん(伊達市梁川町)



鈴木 恵美子さん(伊達市保原町)



今野 廣子さん(南相馬市鹿島区)



佐藤 久子さん(二本松市)



山田 ひで子さん(伊達市保原町)



清野 八智子さん(伊達市保原町)

短歌・俳句・川柳

短歌

代かきの水面にただよぶ中島の
地蔵桜に望む安達太良
平田 一さん(南相馬市原町区)

白鷺の急降下してエサを食む
川面にカモの広げし波紋
大内 由美子さん(南相馬市鹿島区)

夜が明けて目覚めの早い燕さん
働きものくゝ我が家の宝
佐藤 弘美さん(福島市)

青空の下で咲く優雅な美しさ
そよ風に吹かれ花びら舞う
吉田 ユキさん(二本松市)

手を引かれ登りて見渡す桜花
パノラマ見事疲れを癒す
田中 里子さん(南相馬市原町区)

俳句

春かすみ黄砂花粉ウイルス春よこし
加藤 慶子さん(伊達市霊山町)

アウトドア孫は両手につくしんぼ
安藤 直子さん(南相馬市鹿島区)

川柳

夫逝き花に囲まれし返事なし
渡邊 純子さん(南相馬市鹿島区)

主居ずも満開すいせん愛しいや
堀内 まさ子さん(南相馬市原町区)

庭先に花すべりふる西の風
佐藤 文子さん(伊達市保原町)

春彼岸10年ぶりの友と会い
梅村 チヨ子さん(南相馬市小高区)

節句の日兜を飾り孫祝う
松坂 義秀さん(南相馬市原町区)

春とはいえ心の中はぱとせす
岩佐 良子さん(新地町)

慣れぬ里春鳴き鳥の網わたり
菅井 昭子さん(国見町)

櫻散り花の都は青葉町
夫口 謙介さん(南相馬市小高区)

夏近し若草もゆる河川敷
富田 直子さん(水戸市)

桜咲き紅屋峠のうつくしさ
鈴木 恵美子さん(伊達市保原町)

山肌を優しく揺らす藤の舞
平間 勝成さん(南相馬市原町区)

震災に負けぬ日本の底力
須賀 深子さん(伊達市保原町)

喜寿祝いじゃまするコロナ子の思い
二瓶 久子さん(福島市)

毎日を不安で暮すコロナ禍かな
佐藤 忠良さん(二本松市)

八十路でも農機買いこみ粋な夫
宍戸 マリ子さん(福島市)

嬉しいよひ孫があんだエリ巻きよ
鈴木 記代さん(大玉村)

今年だけ緑のジュータンこめづくり
今野 純子さん(新地町)

温暖化桜開花が記録初
草野 小心さん(南相馬市鹿島区)

愛猫が寝顔姿で天国へ
市山 カツエさん(国見町)

曾孫ふたりニコニコ顔で幼稚園
吉田 昭雄さん(南相馬市原町区)

接待のワケが読めない筈はない
山本 松太郎さん(本宮市)

作品募集中

絵手紙、短歌、俳句、川柳の作品を募集いたします。
住所・氏名・年齢・ご連絡先を明記の上ハガキまたは封書にて、
お送りください。また、「みらいろ」を見てのご意見、ご感想も
お待ちしております。応募締切は5月18日(火) 必着です。

短歌、俳句、川柳にご応募の方は、作品の種類をご明記ください。

〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「みらいろ作品展」係

※応募多数の場合は、掲載できない場合もございます、
あらかじめご了承ください



五賀 友子さん(南相馬市鹿島区)



今村 久子さん(伊達市保原町)

ご応募いただいた作品は、JAの農産物直売所で掲示させていただきますので、あらかじめご了承ください。

創造的自己改革実践中!!

vol.38

「営農情報フル活用プロジェクト」実践～新たな事業モデルの構築～

当JAは「営農情報フル活用プロジェクト」を掲げました。米穀・園芸・購買事業情報や指導日誌などの営農情報システムと組合員情報、トレーサビリティ、GAP取得などの関連データを一元化し、営農指導と連携することで、農家個々の実態把握、営農計画の提案を実現します。農業者のニーズを捉えた購買利用の促進など新たな事業モデルの構築を図ります。

JAの現行の営農指導支援システムは営農情報の集約はされているが、データの分析、活用が課題となっています。組合員情報や農業振興支援事業、トレーサビリティ、GAP、新規就農者などの同システム外の関連情報と紐づけし、様々な分析結果を得ることを狙います。

プロジェクトは2021年1月設置を起案。2月既存データを基に出力イメージを作成。以降プロジェクト会議を開き、データの設計に取り掛かり、4月からのデータ活用を目指します。

21年度の重点実施事項の一つ、各地区営農センターを拠点とした出向く営農指導体制の構築を基軸に、営農指導員の資質向上、組合員の営農技術向上、農業経営発展、農業生産の拡大を図ります。

半谷善弘企画担当常務は「情報をいち早くとりまとめ、いかに活用するかが大事。効率的で的確な指導、提案を実現しよう」と話しました。



創造的自己改革へのさらなる挑戦!! みなさまの評価・応援が私たちの力になります!

大好きな分野を学んで

福島の生活にもっと安心と元気を

初めまして!食農学類1期生の石井奈緒です。私は生産環境コースに所属しています。そこで里山や農地、森林など広い分野の資源循環や生態系について学んでいます。私は小さいころから動物が大好きでした。特に野生動物の行動や人との関係性について研究するために食農学類に入学して、そして勉強に励んでいます。福島県でもクマが人里に現れることが何件かありました。原因と問題解決方法を明確にして人も動物も安心して暮らせる環境を実現させたいです。



さて、話は変わりますが、私はストリートダンスサークルに所属しています。このような状況下では例年通りの活動は難しいですが、それでもオンラインなどの様々な方法で福島に元気や勇気を与えられるように頑張っています!こんな状況だからこそ自分にできることを見つけて、人との繋がりを大切にしていきたいです!

農業の現場で学ぶ vol.03



食農学類1期生 生産環境コース
石井 奈緒 (いしいなお)
出身地 栃木県

SNSで活動状況を随時発信!
@学籍会 (がくほうかい)

福島地区



思いやりのある優しい子に育ってね。

福島西支店

伊藤 重義さん、
みついさんのお孫さん

るの 瑠紀ちゃん(7歳)

るな 瑠那ちゃん(5歳)

安達地区



これからも元気で活発な柑奈でいてね!

安達支店

渡邊 純一さん、
美咲さんのお子さん

かな 柑奈ちゃん(1歳)

元気なすくすくみらいっ子

そうま地区



毎日にぎやかです!

原町総合支店

小林 正貴さん、
真花さんのお子さん

さわ 紗和ちゃん(2ヶ月)

あん 杏ちゃん(1歳)

伊達地区



3人仲良く元気に育ってね!

国見総合支店

井砂 崇さん、
圭子さんのお子さん

あつき 碧月くん(6歳)

いおと 衣音くん(8歳)

しおり 菜ちゃん(2歳)

組合員の皆様へ

まかせて安心

JA葬祭

もしものための安心パスポート!

JAふくしま未来サービス

葬祭ゴールドの会 会員募集中!

ご入会・事前ご相談・お問合せ等
お近くの催事センターまでお気軽にご連絡ください

JAふくしま未来サービス

福島催事センター TEL.024-555-6226 FAX.024-555-6344
 伊達催事センター TEL.024-575-0207 FAX.024-575-0199
 安達催事センター TEL.0243-22-1210 FAX.0243-22-1190
 そうま催事センター TEL.0244-67-1077 FAX.0244-46-5515

未来を拓く協同組合

教えて! 日本農業

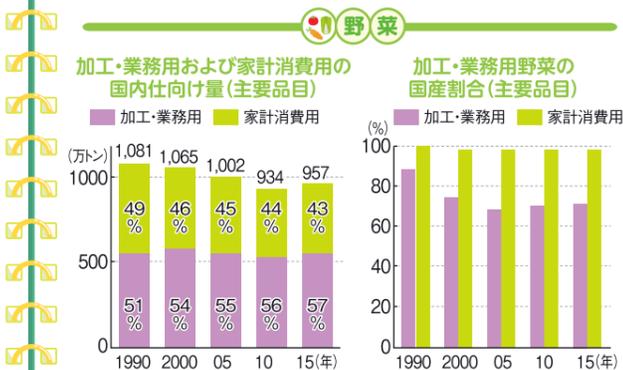
監修=JCA(日本協同組合連携機構)



加工・業務用需要

農畜産物の需要は、以前は家計消費が主体でしたが、社会構造・消費構造の変化に伴って、昭和50年代以降に食品メーカー等向けの加工用、外食・中食企業等向けの業務用が増えてきました。今では加工・業務用の需要が、野菜で全体の6割、米で3割を占めています。こうした変化に対応してJAグループはマーケットインに基づく生産や販売を徹底しており、2019年度には全国のJAの56.6%が加工・業務用需要に応じた契約販売に、52.8%が実需者のニーズに応じた出荷規格・数量設定に取り組んでいます。

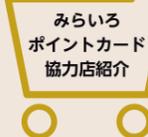
新型コロナウイルス感染症の影響で、加工・業務用野菜の多くを輸入に頼っていることの課題が浮き彫りになりました。食料安全保障の強化のため政府は、加工・業務用野菜の国産への切り替えを推進する方針を打ち出しています。



注:主要品目として指定野菜(13品目)を用いて試算(キャベツ、きゅうり、さといも、だいこん、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、レタス、たまねぎ、ほうれんそう(ばれいしを除く))



農水省資料をもとに作成
 耕そう、大地と地域の未来。



みらいポイントカード協力店で オトクなサービスを受けよう!

ここではみらいポイントカードを提示することで、サービスが受けられるお店を紹介します。



楽酒楽菜 あしび (福島市)
 サービス内容: お料理1品サービス
 隠れ家的な雰囲気、様々な福島の日本酒が楽しめます。
 住所: 福島市置賜町4-27 ニコニコビル2F南号室
 営業時間: 火曜～土曜 17:30～24:00 日曜 17:00～23:00
 定休日: 月曜日
 TEL: 024-529-7271

そば酒房 香り屋 (福島市)
 サービス内容: 特製ドリンク1杯サービス
 手打ちそばの美味しさをより若い世代に伝えたい!!をコンセプトに、女性同士でも入りやすく、デートにも使えるそばの店を目指しました。
 住所: 福島市新町2-29金源ビル2F
 営業時間: 17:30～24:00 *コロナの影響により 23:00閉店の場合有
 定休日: 月曜日
 TEL: 024-521-1011

(有)丸新モーター (川俣町)
 サービス内容: 車検時粗品プレゼント
 明るく親切に対応して、正確な整備でカーライフをサポートします。
 住所: 川俣町小綱木上戸ノ内山1-3
 営業時間: 8:00～18:00
 定休日: 日曜日・祝日 第2土曜日
 TEL: 024-565-5305

(有)広野自動車整備工場 (川俣町)
 サービス内容: 車検・点検整備の支払いにて粗品進呈
 新車・中古車販売。お車の事なら当店にお任せ!
 住所: 川俣町大字鶴沢字下中島18
 営業時間: 8:30～17:30
 定休日: 日曜日・祝日 2・4土曜日
 TEL: 024-566-2315

すし竹 保原赤橋店 (伊達市)
 サービス内容: おみそ汁30%引き
 厳選した新鮮ネタを盛り込んだ自慢の逸品、味で勝負のお持ち帰り寿司。
 住所: 伊達市保原町字赤橋44-3
 営業時間: 10:00～19:30
 定休日: 無
 TEL: 024-575-2920

クリーニング ハイ・エリート (二本松市)
 サービス内容: 1ポイント進呈(当店ポイントカード)
 会員登録で10%OFF。ポイントカードサービス誕生月は50%OFF。
 住所: 二本松市澁川字大壇20-3
 営業時間: 8:00～19:00
 定休日: 水曜日
 TEL: 0243-53-2406

(株)タカオート (二本松市)
 サービス内容: 通常500円/ℓ(税込)のオイル交換を400円/ℓ(税込)に割引、月変わり粗品進呈
 各種自動車・農機具等お困りの時は是非お問い合わせください。
 住所: 二本松市西勝田字柏木139-1
 営業時間: 8:30～18:00
 定休日: 日曜日・祝日
 TEL: 0243-65-2187

(有)昭和自動車整備工場 (二本松市)
 サービス内容: 車検法定点検時のオイル交換工賃サービス
 バイクから大型車までお客様のご要望に応じて車検・钣金塗装・一般整備させていただきます。
 住所: 二本松市油井字道田12-1
 営業時間: 8:30～17:30
 定休日: 日曜日・祝日
 TEL: 0243-22-3366

Beauty HOUSE LDH (南相馬市)
 サービス内容: サイコロをふって運だめし!! ①のゾロ目がそろったら全ての施術無料!! ②のゾロ目があれば粗品プレゼント!
 原町で一番親切的なパーマ屋さん宣言! Love+Dream+Happinessをモットーに、お客様と笑顔になり共感できるお店づくりをこれからも目指して行きます!
 住所: 南相馬市原町区三島町2丁目17-1
 営業時間: 9:00～19:00
 定休日: 月曜日
 TEL: 0244-22-8228

合資会社山形屋商店 (相馬市)
 サービス内容: 量り売り味噌全品1割増量
 相馬伝統のみそ、しょうゆ、こうじ、甘酒がおいしいです。
 住所: 相馬市中村字上町31
 営業時間: 8:00～18:30
 定休日: 第1・第3日曜日
 TEL: 0244-35-2966

さらに協力店を知りたい場合は、各直売所に置いてある「協力店ガイド」をご覧ください。



03 ドローンで見る
ふくしま未来

福島地区 (川俣町)

長寿山から見る近隣の山々

頂上のパノラマ展望台からは蔵王連峰から吾妻連峰、安達太良連峰、那須連峰まで360度の素晴らしい景色が広がります。幸運に恵まれた朝方には雲海に浮かぶような幻想的な眺望を楽しめます。

ホームページで動画もご覧いただけます。
<https://www.ja-f-mirai.or.jp/link/?drone>

JAふくしま未来 ドローン動画集 検索

令和3年度経営所得安定対策等加入申請会日程

実施期間 5月24日(月)～6月2日(水)

月日	開催場所	受付時間	地区割
5月24日(月)	JA北信支店 2F会議室	13:30～15:30	清水・余目・矢野目・鎌田・瀬上
5月25日(火)	JA福島南支店 2F会議室	10:00～12:00	杉妻・吉井田・荒井・土湯
		13:30～16:30	平田・大森・鳥川・佐原・佐倉
5月26日(水)	JA飯野支店 会議室	13:30～16:00	飯野
5月27日(木)	信陵学習センター 大ホール	13:30～16:00	大笹生・笹谷
5月28日(金)	JA東部支店 会議室	13:30～15:30	中央・渡利・立子山・岡山・向鎌田・大波
5月31日(月)	松川学習センター 多目的ホール	10:00～12:00	水原・下川崎
		13:30～16:30	松川・金谷川
6月1日(火)	JA飯坂支店 2F会議室	13:30～15:30	飯坂・中野・平野・湯野・東湯野・茂庭
6月2日(水)	吾妻学習センター本館 多目的ホール	13:30～16:00	野田・庭坂・庭塚・水保

上記の日程により、「経営所得安定対策等」の加入申請会を開催します。ご都合の悪い場合は期間中に他の会場で申請願います。なお、新型コロナウイルス感染拡大のため、来場の際はマスク着用のご協力をお願いします。

申請会には、次のものをご持参ください。【全員】水稲生産実施計画書(控え)・【新規で申請する方】預金通帳

経営所得安定対策等の概要について

○水田活用の直接支払交付金

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	35,000円/10a
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
飲料用米・米粉用米	収量に応じ、55,000～105,000円/10a

○畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)

・麦、大豆、そば、なたね等を対象とし、生産量と品質に応じて交付。

○米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)

・米、麦、大豆等の当年産収入額の合計が標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補てん。

※ゲタ・ナラシ対策は認定農業者、認定新規農業者、集落営農が対象となります

【問い合わせ先】 福島市役所 農業振興課生産振興係 電話(525)7720 / JAふくしま未来福島地区本部 営農経済課 電話(554)5582

組合員のみなさまへ

組合員資格確認のお願い

JA定款規定により、組合員加入申込時の提出書類記載事項に変更があった場合や、組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けていただくことになっています。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届出事項に変更・修正があった場合は、支店へお申し出いただきますようお願いいたします。

当組合の組合員資格

●正組合員資格

- (1) 農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地又は施設が当組合の地区内にあるもの
- (2) 1年のうち30日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地又は施設が当組合の地区内にあるもの
- (3) 農業を営む法人(その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く)

●准組合員資格

- (1) 当組合の地区内に住所を有する個人で、当組合の事業を利用することが適当と認められるもの
- (2) 当組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を1年以上継続して受けている当組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続き当組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
- (3) 当組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を1年以上継続して受けている当組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続き当組合の事業を利用することが適当であると認められるもの

野菜をつくろう！

家庭菜園のススメ

JAの営農担当者監修のもと、「これから野菜をつくってみたい！」と考えているみなさんに役立つ情報をお届けします！

第3回は、「ブロッコリー～側花蕾を春まで取り続ける～」です。



ブロッコリーは冷涼な気候を好み、生育適温は18～20℃です。小さいときは高温に強いが、つぼみの肥大期には耐暑性が弱くなります。一方、耐寒性もあまり強くなく、氷点下2度以下で凍害を受けます。

7月下旬～8月中旬にまき、11～12月に頂部の花蕾（からい）を収穫し、その後側枝から小さい花蕾を春まで取り続けます。

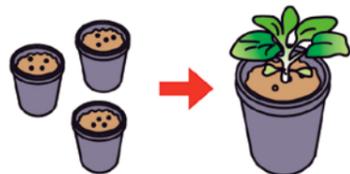
品 種

花蕾が作られる早晚で早生、中生、晩生に分けられます。中生品種が作りやすく頂・側枝花蕾兼用の「ハイツSP」、「緑嶺」などが一般的です。「スティックセニョール」は小さいつぼみで茎が柔らかく、たくさん取れる家庭菜園向けの品種です。

苗作り

直径7.5～9cmのポリポットを使い1ポット当たり3～4粒をまき、本葉2～3枚以上で1株に間引きします（図1）。苗作りの期間中は、寒冷しゃで害虫の飛来を防ぎます。

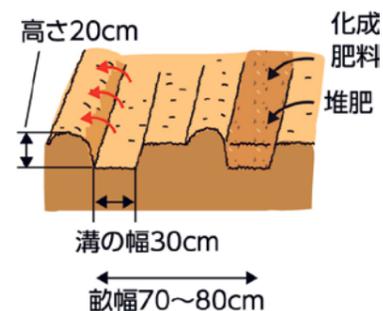
図1 苗作り



畑の準備

植え付け2週間前に、1㎡当たり苦土石灰100gをまいて、深く土を耕しておきます。植え付け1週間前に畝幅70～80cm、深さ20cmの溝を掘り、この溝1㎡当たり化成肥料（NPK各成分10%）100gと堆肥2～3kgを施し、土を戻してよく混ぜて、高さ10cm程度の畝を作っておきます（図2）。

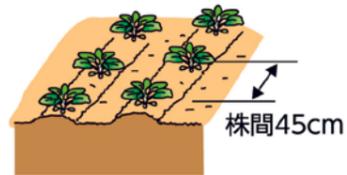
図2 畑の準備



植え付け

本葉4～5枚の頃、株間45cm程度に植え付けます（図3）。植え付け前には、植え穴に十分灌水（かんすい）して植え傷みの少ないようにします。

図3 植え付け



追肥

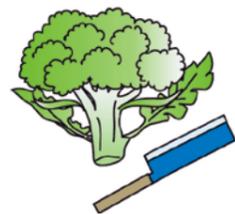
追肥は植え付け後20日ころ株元に化成肥料を1株10gくらいまいて、土寄せします。2回目は花蕾が見える頃に施用します。また、頂部の花蕾を収穫後、側枝の発生を促すため、10gくらい与えます。

病害虫防除（ヨトウムシ、コナガなど）が多いので、トアロー水和剤CTなどで駆除します。

収 穫

花蕾が大きくなり、小さいつぼみがはっきりと見え、固く締まった状態が収穫適期。長さ15～20cmに切り取ります（図4）。頂花蕾の収穫後、側枝から発生する小さい花蕾を春まで取り続けることができます。

図4 収穫



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています

園芸研究家 ● 成松次郎

クロスワードパズル

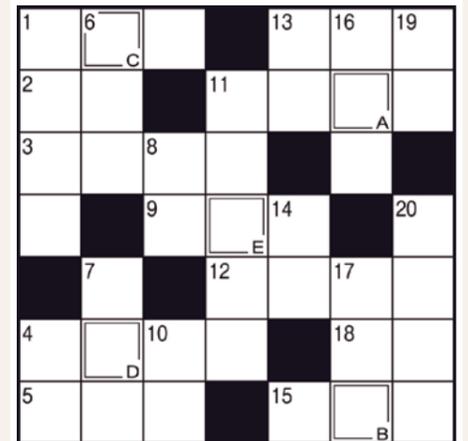
→ヨコのカギ

- お尻が光る水辺の虫
- 手相占いで恋愛——を見てもらった
- 「森のバター」の異名がある果実
- 桃やブドウの収穫量が日本一である県
- ギリシャ文字の第18番目の文字。Σ、σと書きます
- 独り立ちしています
- こっちを通ると早く着くよ！
- 石灰は土壌を——性に傾けます
- オルカと呼ばれる生き物
- 傘の先からポタポタ落ちます
- 口の大きな爬虫（はちゅう）類

↓タテのカギ

- 新しい——が衆議院を通過した
- 南の島に生えていそうな木
- 水を引き入れ、稲を植えます
- 傘や長靴、レインコートなどのこと
- 船が進む方向を定める装置
- 火を通していません
- 酔った人がフラフラと歩く様子
- 奈良公園にたくさんいます
- アサガオが伸ばして巻き付ける物
- 月がなくて真っ暗。——にカラス、——のちようちん
- 古池や——飛び込む水の音（芭蕉）
- 6月の第3日曜日は——の日です
- ささみや手羽、砂肝などの部位があります

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



宛 先

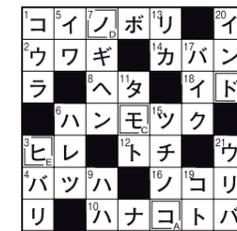
〒960-0185
福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「広報誌クロスワードパズル」係

応募方法

官製ハガキに、①パズルの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧JAや広報誌に関するご意見、ご要望、地域の話題等を記入の上、上記の宛先までご応募ください。

記載された個人情報、賞品の発送以外の目的には使用いたしません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

応募締切
5月18日
(必着)



正解者の中から抽選で「みらいるオリジナルグッズ」を10名様にお送りさせていただきます。

先月号の答え



JAふくしま未来の概要

		令和3年3月末現在
組 合 員 数	(正)	45,763人
〃	(准)	48,501人
役 員 数	理事	53人
〃	監事	8人
職 員 数		1,209人
准 職 員 数		265人
出 資 金		16,022百万円

事業実績

購 買 品 供 給 高	1,157百万円
販 売 品 販 売 高	1,342百万円
貯 金 高	728,153百万円
貸 付 金 高	192,372百万円
長 期 共 済 保 有 高	2,477,967百万円

編 集 後 記

コロナ対策で外出の自粛が続く中、1年に1度しか咲かない桜の花を見逃したあなたに朗報です。JAのYouTube「みらいるチャンネル」に管内6ヶ所の桜や桃の花をドローンで撮影した動画をアップしました！遠方に住むご家族やご友人にもお話しいただき、少しでも故郷の季節を感じてもらえたら幸いです。(優)

理 事 会 報 告

第1回 日時 / 令和3年3月31日(水)
理事会 場所 / JA福島ビル10階 1001会議室

協議事項

- 議案第1号 新相馬カントリーエレベーター取得計画について
- 議案第2号 令和3年産米の取扱方針及び出荷契約約款について
- 議案第3号 令和3年度各利用事業の料金について
- 議案第4号 JAバンクへの更新系APIの追加に伴う「FinTech企業等の連携及び協働にかかる方針」の改正について
- 議案第5号 貸付業務規程の一部改正について
- 議案第6号 減損会計グルーピング及び損失額確定について
- 議案第7号 令和2年度目的積立金の取崩し並びに施設整備積立金の変更について
- 議案第8号 令和2年度決算及び剰余金処分(案)並びに繰延税金資産の計上について
- 議案第9号 令和3年度事業計画【総合財務・総合収支】(案)及び固定資産取得計画(案)について
- 議案第10号 福島県沖地震による「上保原支店」仮店舗営業の追認について
- 議案第11号 第6回通常総代会の開催並びに提出議案について
- 議案第12号 第6回通常総代会参考書類の記載事項及び書面による議決権行使の取扱いについて
- 議案第13号 理事との利益相反取引について
- 議案第14号 本店運営委員会規程の一部改正について
- 議案第15号 令和4年度職員募集について
- 議案第16号 取引のリスク評価書の定例改正について



おいしくて栄養たっぷりな
アスパラガスです。
直売所へぜひお越しください!



伊達市保原町

野田 喜男 さん (71)

伊達地区アスパラガス部会で役員を務める野田さん。アスパラガスとニラを中心に栽培し、JA農産物直売所などに出荷しています。

18年前、農家をやるため秋葉原から現在の保原町に移住。魅力を感じていたアスパラガスの栽培に挑戦しました。初めは自己流でしたが、指導会



などに参加しながら徐々に習得し、現在7棟のハウスで栽培を行っています。品種は、県の育成品種「フクキタル」、「ハルキタル」と「ウェルカム」の3種類。団体認証によりGAPも取得していて、安心安全な農産物栽培に取り組んでいます。

直売所イベント情報

こころ全店

納豆の日

5月17日(月)、27日(木)

みらい百彩館 んめ〜べ

ふくしま未来6次化商品フェア

5月15日(土)、16日(日)

提携JA加工品フェア

5月29日(土)、30日(日)

こらんしょ市 二本松店・本宮店

母の日セール

5月8日(土)、9日(日)

豆腐の日、納豆の日

5月10日(月)

こらんしょ市の日

5月15日(土)、16日(日)

豆腐の日

5月20日(木)

沖縄果物まつり

5月22日(土)、23日(日)

月末の市

5月29日(土)~31日(月)

ふれあい旬のひろば
・旬のひろば

旬の味覚の特売

毎週金・土・日

